

**「野村ワールドリート通貨選択型ファンド(愛称:ワールドリートプラス)」  
「豪ドルコース」「ブラジル・リアルコース」2018年11月19日決算の分配金について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村ワールドリート通貨選択型ファンド(愛称:ワールドリートプラス)」(以下、ファンド)の2018年11月19日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算において、世界リート市場及び豪ドル、ブラジルリアルの為替レートの動向と、それに伴う基準価額水準の下落傾向を勘案し、「豪ドルコース」「ブラジル・リアルコース」の分配金を引き下げることいたしました。

分配金引き下げの背景、投資環境と今後の見通しに関する詳細な説明については次ページ以降をご参照ください。

**【分配金】**(1万口当たり、課税前)

ファンド	豪ドルコース	ブラジル・リアルコース
分配金額	<b>20円</b>	<b>10円</b>
(前回決算)	(40円)	(30円)
決算日の基準価額	<b>8,952円</b>	<b>3,330円</b>
決算日の基準価額(分配金再投資)	<b>16,519円</b>	<b>15,369円</b>
(前回決算)	(15,893円)	(15,263円)
分配金額設定来累計	<b>6,580円</b>	<b>9,770円</b>

前回決算:2018年10月17日、設定日:2011年3月11日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

**【分配の方針】**

原則、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

豪ドルコースの分配金引き下げの背景

世界のリート市場は、直近1年間(2017年10月末から2018年10月末)でプラスのリターンとなりましたが(4ページのグラフご参照)、豪ドルが軟調に推移したことが基準価額下落の大きな要因となりました。

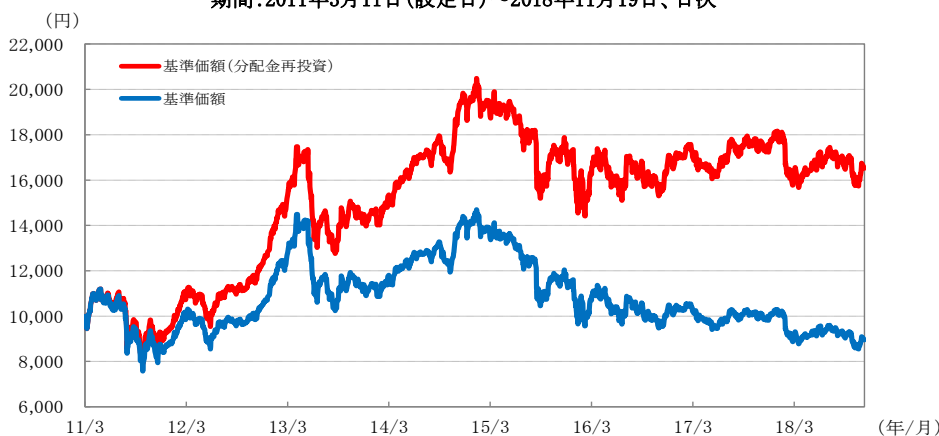
豪ドルは2015年以降、対円で下落基調が続きました。2018年3月以降、豪州の政策金利は米国の政策金利を下回る水準にあることや、米中通商摩擦なども豪ドル安の一因となっています。

市場の短期金利も豪ドルが米ドルを下回る状況が足元で続いていることから、現状では為替取引によるコスト(金利差相当分の損失)が生じており、ファンドの配当等収益等(インカム収入)の減少要因となりました。

2018年11月19日現在、「豪ドルコース」の基準価額は8,952円、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)は16,519円となりました。分配金支払いの継続や運用資産の健全性維持、配当等収益などに影響を与える今後の市場動向、現状においては基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることなどを総合的に勘案した結果、「豪ドルコース」の分配金を前回決算時の40円から20円に引き下げました。

＜豪ドルコースの基準価額の推移＞

期間:2011年3月11日(設定日)～2018年11月19日、日次

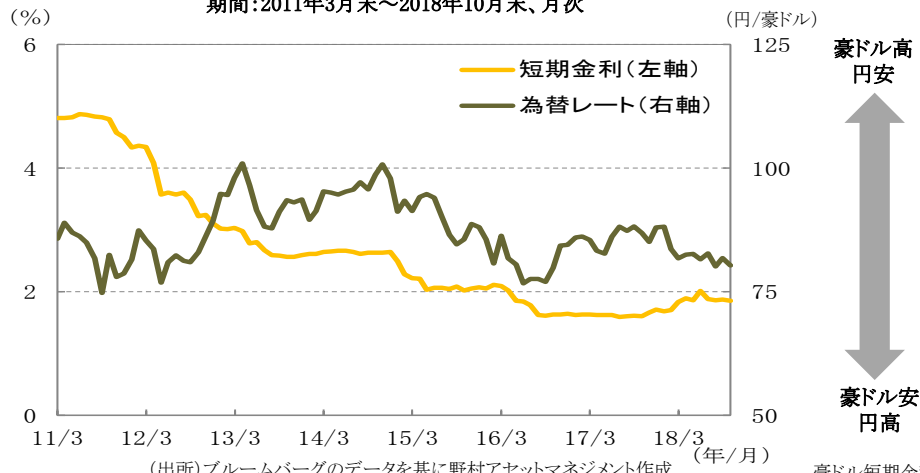


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜豪ドルの対円為替レートと短期金利の推移＞

期間:2011年3月末～2018年10月末、月次



(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

豪ドル短期金利:銀行手形1ヵ月

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ブラジル・リアルコースの分配金引き下げの背景

世界のリート市場は、直近1年間(2017年10月末から2018年10月末)でプラスのリターンとなりましたが(4ページのグラフご参照)、ブラジルリアルが軟調に推移したことが基準価額下落の大きな要因となりました。

ファンド設定(2011年3月)以降、ブラジルリアルは長期的に対円で軟調な推移が続いています。2016年にはテメル大統領による構造改革などが評価され上昇基調となりましたが、2017年に入ると同大統領の汚職隠ぺい疑惑や、年金制度改革法案投票の先送りなどから軟調な推移となりました。2018年も2月の米国金利急騰、8月のトルコショックなど、投資家のリスク回避姿勢が強まり、新興国通貨が売られるなど、ブラジルリアルは弱含みとなりました。

また、ブラジルリアルの短期金利は2017年以降大きく低下しました。そのため、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が縮小し、ファンドの配当等収益等(インカム収入)の減少要因となりました。

2018年11月19日現在、「ブラジル・リアルコース」の基準価額は3,330円、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)は15,369円となりました。分配金支払いの継続や運用資産の健全性維持、配当等収益などに影響を与える今後の市場動向、現状においては基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることなどを総合的に勘案した結果「ブラジル・リアルコース」の分配金を前回決算時の30円から10円に引き下げました。

＜ブラジル・リアルコースの基準価額の推移＞  
期間:2011年3月11日(設定日)～2018年11月19日、日次

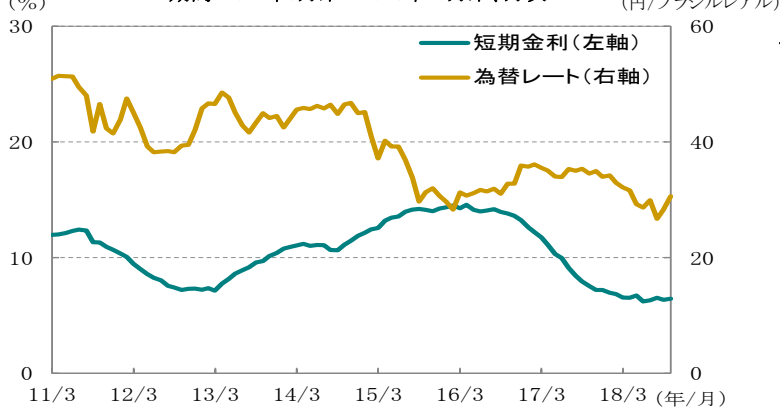


基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜ブラジルリアルの対円為替レートと短期金利の推移＞

期間:2011年3月末～2018年10月末、月次



ブラジルリアル高  
円安

ブラジルリアル安  
円高

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

ブラジルリアル短期金利: 国債1ヵ月

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

以下はCBREクラリオン社等の情報提供に基づき、野村アセットマネジメントが作成しています。

世界リート市場の見通し

世界的に堅調な経済成長と穏やかなインフレは、今後の世界リート市場にもプラスになるとみています。

2018年初は2.4%であった米国10年国債利回りは、10月末現在では3.1%と上昇しています。先進国市場を中心に、短期金利が上昇し、利回り曲線のフラット化(長期金利と短期金利の差が小さくなること)が見られますが、これは将来、穏やかな経済成長を示しているとみられ、リートにとっては概ね好ましい環境であると考えます。今後12ヵ月間の世界リートの収益成長率は5%程度、配当利回りは4%程度とみえています。

2018年10月末現在のNAV倍率(リートが保有している物件の純資産に対するリートの価格比率)は-8.0%となっており、リートは実物不動産に対して割安な傾向となっていることから、M&A(合併・買収)は活発化しています。低金利の継続や不動産価格の上昇基調など、リートが魅力的な投資対象となっていることなどを背景に、世界リート市場にはM&Aの投資待機資金(投資の確約をしつつも資金拠出をしていない未投資枠を示す余力)が過去最高となる約2,900億米ドルに上っており、M&Aは今後も引き続き投資のテーマとなると考えます。

米国については、テクノロジー(電波塔やデータ・センター)、賃貸住宅、質の高いハイエンドモール(高級ブランドなどを揃えたショッピングモール)等、アジア太平洋地域では、空室率が3%を下回った日本のオフィスや実物不動産に比べ割安で推移している香港の銘柄、英国では、学生寮やセルフ・ストレージ(個人向け倉庫)、欧州については、スペインやスカンジナビア諸国などの成長市場を注目しています。利回りと成長率が魅力的なドイツの賃貸住宅セクターも引き続き注目しています。

<世界リート指数の推移>

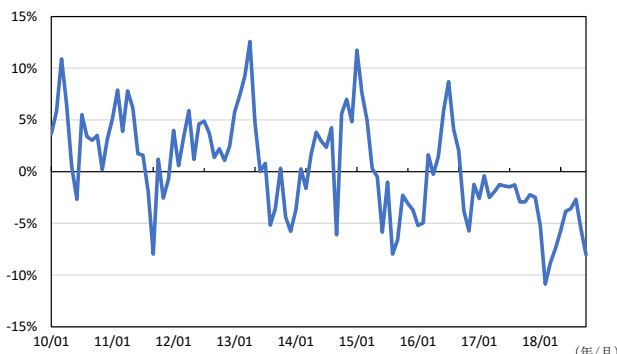
期間:2010年1月末~2018年10月末、月次



世界リート:S&P先進国REIT指数(配当込み、米ドルベース)  
(出所) FactSetのデータを基に野村アセットマネジメント作成

<NAV倍率の推移>

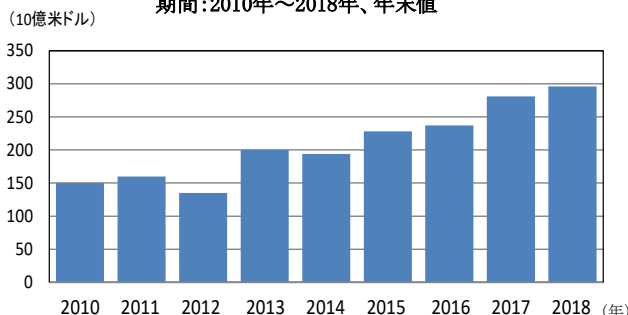
期間:2010年1月末~2018年10月末、月次



(出所) CBREクラリオン提供データを基に野村アセットマネジメント作成

<世界リート市場の投資待機資金>

期間:2010年~2018年、年末値



2018年は2018年11月9日時点の値です。  
(出所) Preqin、CBREクラリオン作成

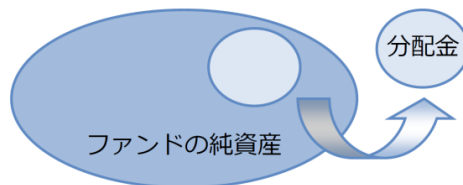
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<当資料で使用した指数について> S&P先進国REIT指数は、スタンダード&プアーズファイナンシャルサービシーズエルエルシーの所有する登録商標です。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



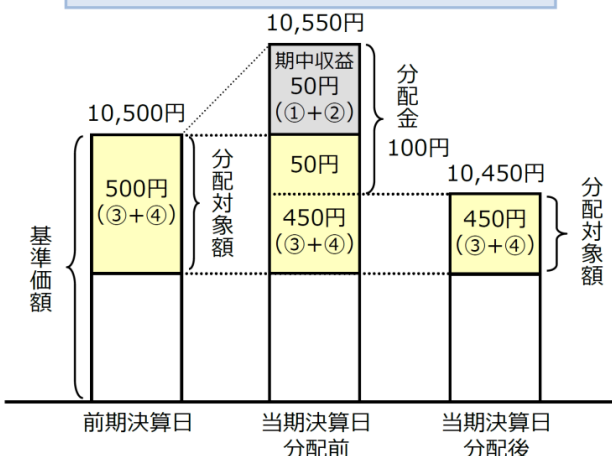
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

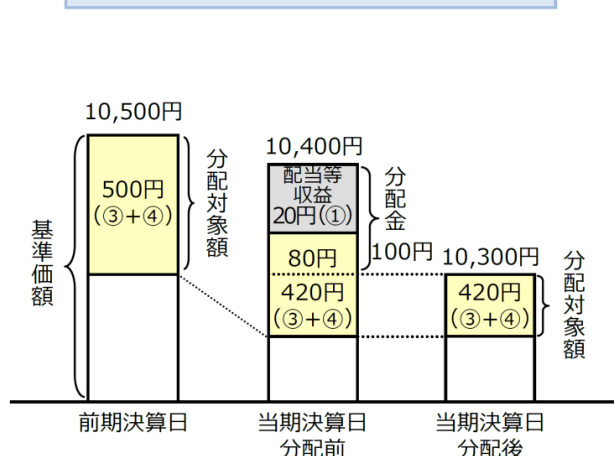
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

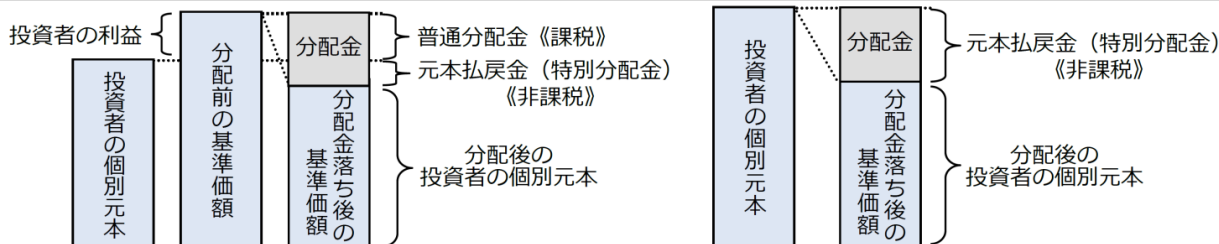


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド  
(愛称:ワールドリートプラス)

## 【ファンドの特色】

- 高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されているREIT(不動産投資信託証券)を実質的な主要投資対象\*とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、投資信託証券を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

### ■REITについて■

◆REIT(Real Estate Investment Trust)とは、「不動産(Real Estate)」に投資する「投資信託(Investment Trust)」のことです。

- 「野村ワールドリート通貨選択型ファンド」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる4本のファンド(円コース、米ドルコース、豪ドルコース、ブラジル・リアルコース)から構成されています。

円コース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則として円へのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを旨とする外国投資信託に投資を行ないます。
米ドルコース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則として米ドルへのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを旨とする外国投資信託に投資を行ないます。
豪ドルコース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則として豪ドルへのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを旨とする外国投資信託に投資を行ないます。
ブラジル・リアルコース	組入資産の通貨配分にかかわらず、為替予約取引等を活用し、原則としてブラジルリアルへのエクスポージャーを純資産総額のほぼ100%程度に維持することを旨とする外国投資信託に投資を行ないます。

- 円建ての外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンド・ワールド・リート・ファンド」および日本円の短期金利の獲得を安定的に目指す別に定める投資信託証券(以下、「指定投資信託証券」といいます。)に投資します。

- ◆ 通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンド・ワールド・リート・ファンド」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンド・ワールド・リート・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- ◆ 指定投資信託証券は適宜見直しを行ないます。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れたり、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

- 「野村ワールドリート通貨選択型ファンド」を構成するファンド間でスイッチングができます。

- 原則、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前ののものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界各国のREIT(不動産投資信託証券)等に実質的に投資する効果を有しますので、当該REITの価格下落や、当該REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2021年6月17日まで(2011年3月11日設定)
- 決算日および収益分配 年12回の決算時(原則、毎月17日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「野村ワールドリート通貨選択型ファンド」を構成するファンド間でスイッチングが可能です。  
\*販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨークの銀行 ・ニューヨーク証券取引所  
・ルクセンブルクの銀行  
・サンパウロの銀行(ブラジル・レアルコースのみ)  
・ブラジル商品先物取引所(ブラジル・レアルコースのみ)
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆ 設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会／  
一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当ファンドに係る費用】

(2018年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.0476%(税抜年0.97%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.7276%程度(税込) *ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。なお、ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。
◆その他の費用・手数料	組入有効証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等にに応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、REIT等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（愛称:ワールドリートプラス） 円コース／米ドルコース／豪ドルコース／ブラジル・リアルコース

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
丸近証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第35号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。